

グローバル・エコシステム連携事業 シンガポール派遣プログラム ~ANCHOR SEA TOKYO~

募集要項

令和8年 9月1日

主 催：東京都スタートアップ戦略推進本部

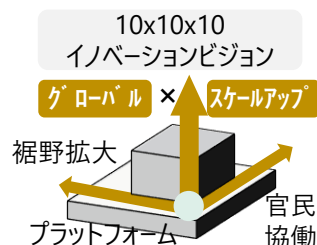
事務局：デロイト トーマツ ベンチャーサポート株式会社

1. プログラムの背景と目的

背景・目的

グローバル×スケールアップによるSUの成長

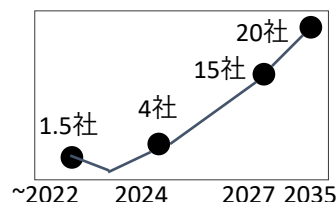
- 「Global Innovation Strategy 2.0 STARTUP & SCALEUP」では、「**グローバル**」と「**スケールアップ**」を新たな柱として位置付け、世界市場で競争し持続的に**成長するスタートアップの創出**を目指している



東京発ユニコーンの更なる輩出が急務

- スタートアップ戦略「Global Innovation with STARTUPS 1.0」に基づく各種施策の推進により、エコシステムの拡大や支援体制の強化等の成果を上げてきた
- 一方、**東京発ユニコーン企業輩出については、さらなる飛躍が求められている**

東京発ユニコーン目標数
20社/年



NUSを活用する意義

NUSのネットワークを通じて、東南アジア展開の起点を構築

- NUS Enterpriseは、これまで10社のユニコーンを含めて、**合計3,000社以上のスタートアップを支援**しており、東南アジア有数のスタートアップエコシステムを形成している
- NUSは、東南アジアの**資金調達額上位100スタートアップの創業者出身大学として1位**を誇り、研究技術の社会実装・事業化を支えるための実践的な仕組みを備えている
- また、ディープテック領域に特化したスタートアップ支援プログラムも展開しており、2024年からは**シンガポールの国家戦略の一環として位置づけられている**

目指す成果

東南アジア展開に向けた中長期的な成長基盤の形成

- 本事業でのNUS Enterpriseによる派遣、メンタリング、ピッチ機会の提供を通じて、参加スタートアップの事業仮説を磨きこみ、シンガポール・東南アジア進出の足掛かりを形成する
- あわせて、**現地投資家・協業先・研究機関・エコシステム関係者との接点を構築**することで、現地での事業検証・事業連携・資金調達につながる機会を創出する
- 短期的な成果にとどまらず、NUSのリソースとネットワークを活用しながら、**中長期的な海外成長基盤の構築**を目指す

2. プログラム概要

東京都では、シンガポールに拠点を置く「National University of Singapore (NUS)」の派遣プログラムに参加するスタートアップを募集しますのでお知らせします。参加に当たっては、都が現地でのネットワーキング機会や商談機会提供等の支援を行います。シンガポールを中心とした東南アジア地域への事業展開をお考えの皆様は、是非ご応募ください。

開催目的	本プログラムを通じて、 シンガポールを中心とした東南アジア市場への事業展開 を目指すスタートアップを支援し、 将来のユニコーン創出 に貢献する
採択社数	最大10社（各社2名まで） *応募社数が一定以上の場合、面談審査に加えて、書類審査も実施
事業領域	主に、ディープテック領域 (AI・量子、ロボティクス、ヘルスケア、グリーンテック等)
ステージ	主に、シード・シリーズA~B
サポート金額	1社あたり最大60万円 *海外渡航費・宿泊費サポート 詳細は次ページ参照
備考	採択企業の本店所在地又は活動拠点は、東京都内に限定しません

プログラム スケジュール	- 決起会： 2026年10月15日 - 渡航案内、プログラム概要の説明やレクチャーを含む採択スタートアップ決起会
	- 国内プログラム①（オンライン）： 2026年10月中旬~1月上旬 - シンガポールでの初期接点創出 - 初期アプローチ手法の獲得、商談準備
	- 海外プログラム①： 2027年1月18日~1月27日 - プロダクトニーズの検証 - スタートアップエコシステム関係者とのネットワーキング - 現地企業との商談実施
	- 国内プログラム②（オンライン） 2027年1月下旬~3月上旬 - 次回商談に向けたプレゼンのブラッシュアップ - 海外プログラム②の計画策定・メンタリング
	- 海外プログラム②： 2027年3月1日~5日 - 現地VCとのネットワーキング - 現地企業との商談深耕
	- フォローアップ： 2027年3月中旬~下旬 - プログラム後の活動計画整理に向けたメンタリング - プログラム報告会の実施

■ NUSによる渡航前からの伴走支援

■ 商談を軸とした実践的な現地プログラム

■ 商談深耕に向けた、2回の渡航機会

3. 参加スタートアップへのサポート

グローバルネットワークの構築に向けて、現地派遣プログラムへの参加を支援するとともに、連携候補企業や投資家等とのマッチング支援、現地でのネットワーキング機会を提供いたします。



現地エコシステムとの接点創出

現地コミュニティや関連プレイヤーとの交流機会を通じて、現地のスタートアップ・投資家・事業会社等との接点づくりを支援します



マッチング支援・ネットワーク獲得

投資家等との個別商談の設定支援やネットワーキング機会を活用いただくほか、現地イベントにてピッチ機会の提供可能性がございます

(変更可能性有り)



海外渡航費・宿泊費サポート*

シンガポール渡航における航空券、現地宿泊費を最大60万円サポートします

*海外渡航費・宿泊費サポートの詳細

【支給額】

支給額：以下に定める「サポート対象経費」の額。ただし、支給上限額は、1回目の派遣35万円、2回目の派遣25万円とします。

【サポート対象経費】

サポート対象経費は、海外プログラム参加のため実際に支出した海外渡航費（航空運賃）及び現地での宿泊費の合計金額とします。

現地での宿泊費は、海外プログラム参加必須期間の前々日泊～最終日泊までを支給対象とします。

それぞれ上限額の基準を設けています。やむを得ない事情で基準額を超える場合は、事前に事務局にご相談ください。

海外渡航費：日本国内の空港と現地の往復に要するエコノミークラス航空運賃（事務局にて算定した規定額）〔①〕を基準とします。

往路が日本国外からの移動の場合、当該海外都市の空港から現地までのエコノミークラス航空運賃又は〔①〕のいずれか低い額とします。

※ 海外渡航期間終了後に海外他都市に移動する場合は、復路の航空運賃を支給しません。

宿泊費：職員の旅費に関する条例（昭和26年東京都条例第76号）で定める1泊当たりの宿泊費基準額を基準とします。

【その他】

- ・領収書やクレジットカードの利用明細書等の証跡をご提出いただきます。
- ・具体的な内容及び請求方法等は、採択企業に別途お知らせします。

4. プログラム詳細

2026年10月より、オンラインと対面を組み合わせた実践型プログラムを開始し、レクチャーやメンタリングを通じたMVP仮説構築から、シンガポールでの検証・VCとの接点創出までを一貫して支援します。

2026年10月15日

キックオフ



対面

● Kick off / Orientation 1日間 (東京)

NUSの起業支援メソッドに基づく講義ならびに参加者の研究事業アイデアへの理解を深めるピッチを実施

2026年10月~2027年1月

国内 プログラム①

オンライン

● 2 on 1 メンタリング

- ・Deep Dive Consultant (DD)
- ・Commercial Champion (CC)
- ・参加者

の3者による週次セッションを行い、シンガポールにおけるMVPの仮説構築と現地商談アポの準備を実施

● ピッチクリニック

東南アジアの投資家・事業会社向けのピッチスキルのレクチャー、ならびにチームごとの個別トレーニングを提供

● e-learning

NUSのVenture Creationで使用するオンライン学習ツールによる知識の補完

2027年1月18日~27日

海外 プログラム①



対面

● MVP Validation Boot Camp 1週間 (シンガポール)

- ・事前にアポイントメント調整した現地企業を短期間で集中的に訪問
- ・対面で自社プロダクトのニーズ・適合可能性を検証し、具体的な課題や示唆を抽出

- ・主要なスタートアップエコシステムとのコネクト、ネットワーキングイベントへの参加を通じ、具体的な現地での活動イメージを構築

2027年3月1日~5日

海外 プログラム②



対面

● VC meet up and Follow up from 1st visit 1週間 (シンガポール)

- ・1回目の訪問の際に接点を持った現地企業とのフォローアップ面談を実施
- ・さらに、2回目の訪問は1回目よりもVCとのコネクションに重きを置いたセッションを提供

4. プログラム詳細

2026年10月～2027年1月で実施予定の国内プログラム①では、以下の活動を通じて渡航前の段階から、シンガポールでの初期接点創出および商談準備を支援する予定です。



※プログラムの各種スケジュール・タイミングの都合上、Commercial Championのアサインメントがプログラム中盤になる可能性があります。

5. 応募・審査スケジュール

* 応募審査スケジュールは調整中であり、変更される可能性があります

応募期間及び採択結果通知日（予定）は以下の通りです



6. 応募資格

本事業への応募者は次に掲げるすべての事項を満たすスタートアップであることとします

1. 優れたテクノロジー・アイデアでイノベーションを創出し、持続可能な社会の実現と人々の豊かな暮らしをグローバルにもたらすポテンシャルを有するスタートアップであること
2. 日本国内に拠点を有し、東京において事業展開を行っている、または事業展開を目指すスタートアップ（概ね設立10年以内の企業であること）
3. シンガポール滞在中又は帰国後に、シンガポール及び東南アジアでの具体的なビジネス機会の創出（販路拡大、事業提携、現地投資家の開拓、現地人材の採用等）に向けて主体的に取り組む意欲を有すること
4. 経営者等の役員や海外展開の責任者等、当該企業の意思決定に権限を有する者が現地プログラムに参加できること
5. 英語による提案資料の作成及び商談が可能なこと
6. 以下の期間、シンガポールに滞在し、現地プログラムに参加できること
 - ・ 2027年1月18日（月）～2027年1月27日（水）
 - ・ 2027年3月1日（月）～2027年3月5日（金）
7. プログラム期間中及び終了後のヒアリング・アンケート等に必ず協力できること
8. 法令等若しくは公序良俗に反していない、又は反するおそれがないこと
9. 反社会的勢力又はそれに関わるものとの関与がないこと
10. 会社更生法（平成14年法律154号）に係る更生手続の申立や民事再生法（平成11年法律第225号）に係る再生手続開始の申立がないこと
11. 税金の滞納をしていないこと
12. 過去の業務その他の事情において、都が支援することがふさわしくないと判断する事実が存在しないこと

7. 応募方法・審査基準

応募方法及び審査基準は以下の通りです

応募方法

下記、参加申込フォームよりご応募ください

[[グローバル・エコシステム連携事業 募集フォーム シンガポール派遣プログラム ~ANCHOR SEA TOKYO~](#)]

審査基準

応募者を以下の基準で審査し、採択企業を決定いたします

オンライン面談審査では、以下の審査基準に沿って、5分間の英語プレゼンテーションを実施いただきますので、あらかじめご準備をお願いいたします

1. 本プログラムへの親和性 | 本プログラムを通じて、具体的な成果創出や海外展開の加速が見込まれるか
2. サービス・プロダクトの競争優位性 | プロダクト・サービスや技術の独自性があり、競争環境において優位性が見出せるか
3. 成長ステージ及び国内での事業展開状況 | 国内での事業実績、顧客検証、提携状況等を踏まえ、事業基盤が一定程度構築されているか
4. 海外展開状況及び将来計画の妥当性 | 海外展開の実績・活動状況、または海外展開に向けた準備状況が具体的に確認でき、展開計画の妥当性・実現可能性が高いか
5. 英語力 | 海外企業・支援機関等とのコミュニケーションに必要な英語力を有し、かつ商談・プレゼンに対応できる体制が整っているか

8. 留意事項

本事業に採択された方におかれましては、下記の点をご留意くださいますようお願い申し上げます。

1. 採択された方の情報（社名、事業内容等）は、Webサイト等に公開する可能性があります。プロジェクト終了後に、プロジェクトの成果も本プロジェクトWebサイト等で公開させていただく予定です。
2. 採択された方は渡航前後、及び渡航から一定期間経た後に実施するアンケートやヒアリング調査に協力いただく予定です。
3. 採択された場合、プログラム参加の辞退は原則お受けしかねます。あらかじめプログラム開催日程近辺のご予定を確保いただくとともに、社内リソースに関してもご調整の上で、ご応募ください。
4. 審査は申込時に記載された参加予定者を前提に行うため、採択後の参加者変更は原則として認められません。やむを得ない事情が生じた場合は、速やかに事務局へご相談ください。変更内容によっては、参加可否を改めて確認し、採択を取り消す場合があります。また、申込時に記載のない方への変更は原則認められません。
5. 採択された企業には、本プログラムへの参加に係る協定を東京都との間で締結いただく予定です。
6. 本プログラムは、内容が変更となり、又は中止となる場合があります。その場合、東京都は参加者その他の関係者に生じた損害、費用その他一切の不利益について補償しません。

9. お問い合わせ先

お問い合わせ先

グローバル・エコシステム連携事業事務局
デロイト トーマツ ベンチャーサポート株式会社

メールアドレス: globalecosystem_singapore_outbound@tohatsu.co.jp

10. 参考 - シンガポール国立大学（NUS）について

■シンガポール国立大学（NUS）について

シンガポール国立大学（National University of Singapore, NUS）は、シンガポールを代表する総合大学であり、アジアの視点と専門性を重視しながら、教育・研究・起業支援においてグローバルなアプローチを展開しています。シンガポール国内の3つのキャンパスに15のカレッジ・学部・スクールを有し、100か国以上から集まる4万人超の学生が多様性豊かなキャンパスコミュニティを形成しています。

また、世界各地に20以上の「NUS Overseas Colleges」起業家教育拠点を設置しています。

NUSは学際的かつ実践的なアプローチを通じて、産業界・政府・学術機関と緊密に連携し、アジアおよび世界が直面する重要かつ複雑な課題に取り組んでいます。学部や卓越研究センター、企業ラボ、30を超える大学レベルの研究所に所属する研究者たちは、エネルギー、環境・都市の持続可能性、疾病の予防と治療、高齢化社会への対応、先端材料、金融システムのリスク管理とレジリエンス、アジア研究、そして人工知能、データサイエンス、オペレーションズ・リサーチ、サイバーセキュリティといった「スマート・ネーション」関連分野に注力しています。

公式サイト：<https://nus.edu.sg>

■NUS Enterpriseについて

NUS Enterprise（NUSエンタープライズ）は、シンガポール国立大学（NUS）の起業支援部門として、NUSを人材の集積地かつグローバルイノベーションの原動力とすることを使命としています。2001年設立以来、約4,300人の学生を育成し、3,000社以上のスタートアップを支援、その中から10社のユニコーン企業を輩出するなど、世界中のイノベーション・エコシステムの発展に寄与してきました。

実践的な学びで、エコシステム構築、技術の社会実装と商業化、戦略的なグローバルパートナーシップを通じて、次世代のチェンジメーカーが人類の喫緊の課題に取り組めるよう支援しています。NUSエンタープライズの目標は、今後10年間で10億人の生活を改善することです。

公式サイト：<https://enterprise.nus.edu.sg>